

木津川市といえば何を思い浮かべますか



木津川市の現状

木津川市といえば〇〇

- ・人口増加の街
- ・恭仁京
- ・木津川アート
- ・学術研究都市
- ・パン屋さんが多い

魅力がありすぎて
一つに絞れない

パン屋さんの数が多い！ 22店舗（人口約79,000人）



「木津川市パンめぐり」ガイドより

パン屋店舗数ランキング
（人口10万人あたり）

都道府県別

- | | | |
|----|-----|----------|
| 1位 | 愛媛県 | 14. 71店舗 |
| 2位 | 徳島県 | 13. 45店舗 |
| 3位 | 長崎県 | 13. 43店舗 |

市町村別（政令指定都市）

- | | | |
|----|------|----------|
| 1位 | 京都市 | 14. 64店舗 |
| 2位 | 神戸市 | 13. 66店舗 |
| 3位 | 北九州市 | 13. 63店舗 |

平成28年経済センサス活動調査結果

ふっくらCUTEなパン都プロジェクト



きっかけ

木津川市の特色＝「パン屋さんが多い」を生かして、
関係人口を増やすコンテンツをつくりたい

- ・パン屋さんになるには、開業資金が高額なため、失敗が許されないプレッシャーがある
これから開業したい若手パン職人が活躍できる場所の提供
- ・市内パン屋さんの魅力発信、パンを通して、オモシロイことをしたい
パンの街としてブランド化し、パン屋さん同士の横のつながりを強める



パン都プロジェクトってなに

WHO これから開業を目指す20歳代の若者

WHAT パン屋開業支援プロジェクト

HOW 設備が整った場所を提供し、開業する前にチャレンジできる
市内パン屋のサポート体制を構築し、市一丸となりサポートする

WHERE 空家をリノベーションした落ち着いた場所

【概要】

- ・木津川市が設備が整った場所を3人のチャレンジャーに2年間提供
- ・バックヤードは共有で、販売場所はそれぞれあり
- ・市内パン屋による開業準備のアドバイスや困りごとを相談できる体制の構築
- ・市が全面協力でサポートする
- ・市内で開業すると一部補助あり



目指す世界

木津川市といえば「パンの街」

ライバル店を増やすのが目的ではなく、
パン屋がパン屋を支え、ともに市場をつくる街を目指す
香川といえば【うどん】、仙台といえば【牛タン】のような街!!
まずは、市内パン屋スタンプラリーとパンフェスを開催し、
認知されるようなプロジェクト始動

目指せ！
パン屋店舗数日本一の街



収支計画

【初期投資】
総事業費：4,000万円（内装・設備）
地方創生交付金の活用：補助率1/2

【市収入】
利用料：21万円/月（7万円×3人）
パンフェス収入：出店料、歩合収入

【ランニングコスト】
光熱費・材料費はチャレンジャー負担

【開業資金】
150万円（50万円/人×3人）

【備考】
職員2人体制

区分	1年目	2年目	3年目	4年目	10年目 累計
【入】 利用料	252万円	252万円	252万円	252万円	2,520万円
パンフェス イベント	100万円	100万円	100万円	100万円	1,000万円
【出】 開業資金	—	150万円	—	150万円	750万円
消耗品費	10万円	10万円	10万円	10万円	100万円
累計	△1,658 万円	△1,466 万円	△1,124 万円	△932 万円	670 万円